

二、公共事業

イ、電気及水道

電気及水道の両事業は入城以来最早く其の必要痛感せられ実際当初に復旧作業を開始せるものにして本年一月一日より利用せらるる所となれるか其の詳細は前報告に説せる所なるも以て茲に省略す爾来本両事業は内外両面の不可避的原因に因り今日迄軍直営の形式を以て経営せらる其の内的原因とは興中公司の人員不足且又内地より初めて渡航せる者なる為支那人に対し を抱く者多きと軍の需要が大半を占め軍の経営を 利とせるものにして其の外的原因 は警備、輸送力及支那人に対する現物の給与 軍の力を非れは到底之れを全うするを得ざりしなり第三師団の交替以来經理部は特務部指令を尊重し大 三月中旬に興中公司をして かしむることに予定せるか準備進まず更に半ヶ月延長の已むな に至れり三月中旬の興中公司の陣容整備に付 十一日新に火力班十名 京莚電所作業に従事し之と共に従来の職員は内外総て専門に 当し城内

に移転せり従つて現在人員は事務員所長以下九名技術員電気火力班十名内外線班十三名水道は当初と同じく二十八名なり
運転中の事故に付ては三月中旬発電所内線に黒猫が飛び込む由にて停電あり下旬にかけて水道薬品不足の為用水甚しく浸濁せり
第二師団は一方に於ては之より夏季に向ふ南京の衛生状態の重視し諸般の対策を講しつあるも本両事業に於ても当今部隊警備の為却々一般の需要には応じ難き実情なり且又軍の経営として無償にて一般の利用に開放せらるるは事業の経済的意義を没却するものにして一日も早く興中公司をして引続かしめ軍特務部の監督の下に料金の徴収を開始せしむるを至当とす

ロ、通信及交通

(一) 郵便

懸案中の中支占領地域に於ける郵便事務は愈三月二十五日を期し先づ第一着手として南京より之を開始せり部隊宿舎に充てられたる康路支局も部隊の 意ある配慮に依り移転し四月上旬開始の見込を

得るに至れり

現在の郵便事務は普通及書留郵便の二種にして大凡四月上旬より 達、小包及価格表記郵便物を開始する予定なり而して集配 配達夫は使用するも郵便函を用ひ 管理局及各支局に於て受付つつあり三月二十五日より五日間の郵便切手販売総額は九百十八円六十八銭を計上せり切手に付ては当地に手持なかりし為開局に先ち本機関に於て旅行証明を交付鎮江に赴かしめ漸く実際の需要に應ずるを得たる次第なり

現在江蘇郵 管理局在京人員は管理局二百一三名其他二百四八名合計四百六一名なり

尚鎮江、 州、常州、無錫及蘇州の郵便事務視察の為旅行証明を發給せり

(二) 電信、電話

三月下旬日本無線電信株式会社当地の無線電信事務準備の為来京軍通信隊、師団指令部とも打合せたるに依り直に適當なる発受信施設箇所及營業を物色せしめ当初軍通信隊に近き旧中央党部北部の地を予定せるも營業所の關係上結局太平路西方旧国民大 院後方の地にアンテナ及事務所を設置し、營業所は太平路旧中華 局を利用し大体四月上旬事務開始の運びに至れり、無線電信に付ては海軍より機械器具の補給を受くることに内定せる由なり

電話業務に付ては再三上海特務部長宛技術員派遣方を請せるも応答なく且旧電話局の復旧は相当の日子を要すへき見込ありたる為本機関は軍通信隊と協議し一般の需要に應ずる為三月十七日午前本機関に於て打合せ開催せり当日出席者は軍通信隊、師団指令部兵站指令部、憲兵隊、支那側自治委員会及日本側居留民会を網羅し左の決定事項を作成せり

(イ) 電話線局の復旧は至急に困難なるに付き不取敢手廻機を以て民